

た ま に 、 母 校 を 思 い 出 そ う

# 岡山白陵 中 高

## 同窓会報

発行：岡山白陵同窓会  
〒709-0715 岡山県赤磐市勢力588  
TEL：086-995-1255



三木重吉先生之像

第25号  
平成29年6月12日

### 第5回 東京同窓会「東京碧翠会」

日時 2017年6月24日(土)14時～16時 (所要2時間)

※例年は「15時」開始でしたが、**今年は「14時」開始**ですので、ご注意ください。

会場 レストラン・アラスカ (プレスセンター店)

http://レストランアラスカ.jp/presscenter/

東京都千代田区内幸町2-2-1 日本プレスセンタービル10F

※参加人数によりますが、着席形式を予定しております。

会費 (予定) 社会人▶1万円 学生▶無料

ご参加予定の先生方(5名)

大森博幸校長先生、坂井文信先生、笠原仁志先生、  
花田高秀先生、岡野衣里子先生

#### 事務局コメント

今回で第5回目となりますが、  
本年も岡山白陵高等学校東京  
同窓会を開催致します。



#### 東京 碧翠会 の連絡

okahakutokyo@excite.co.jp 宛てに、

①お名前②ご卒業期③ご所属を明記の上、参加する旨の  
ご連絡をいただければと存じます。

いただいた情報は、当日の参加者リスト作成のためだけ  
に使用させていただきます。

#### 記載例

同窓会に参加します。

- ①岡白太郎
- ②第1期卒業生
- ③株式会社 三木

### 夏季役員会のご案内

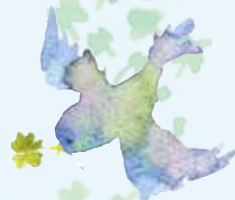
日時▶平成29年7月23日(日)14:00～ 場所▶岡山白陵高等学校会議室

- 議題 ① 会計報告 ② 今後の同窓会総会の開催、準備、役割分担等について  
③ 今後の同窓会活動について ④ その他

#### 追記

- 各期の役員は3ページに掲載の通りですので、出席をよろしくお願いいたします。
- 役員の方には役員会の案内をお送りしますので、ご返信をよろしくお願いいたします。お電話にて出欠を確認させて頂くこともあります。ご了承ください。

本年も下記の要領で役員会を行います。  
何かと忙しい時期ではありますが、万障繰り合わせていただき、何卒ご出席ください。



### Contents

第5回 東京同窓会「東京碧翠会」	1	新役員挨拶	4-5
夏季役員会のご案内	1	活躍する同窓生	6-7
ごあいさつ	2	同窓会だより	7
新役員一覧	3	最近3年間の大学入試状況	8

## ご挨拶



会 長  
入 江 寛  
(5期)  
HIROSHI IRIE

初夏の力強い緑の中、我が母校は、白く気高く聳え立ち、吉井川のゆったりとした流れと熊山の町を眺めていることでしょう。

本年4月より同窓会会長に就任いたしました中学2期（昭和52年入学）・高校5期の入江寛です。宜しくお願い致します。初代の松本浩昭元会長、その後約30年間務められた大津正和前会長を引き継ぎ、3代目の会長となります。広島県庄原市東城町出身で、碧翠寮に入り、三木省吾学園長からの「教養と節度」「愛知・究理」を実感した世代の人間です。中央大学に進学し、卒業後、平成6年から大阪で弁護士をしております。

昨年母校は創立40周年を迎えました。誠にありがとうございます。記念式典に参加し、生徒達の礼儀正しい態度を懐かしく思い、一緒に校歌を歌い感動しました。卒業生は約6,000人にも上るとのことで、発展し続けている母校を誇りに思います。同窓会として母校を支えたいと思います。

卒業生は全国に散らばっています。皆さんは熊山で一生懸命勉強し、自分の目標とする町や

都市部の大学に行き業務に就くことを考えたことと思います。園長の言葉をかりれば、岡山白陵は小宇宙です。約6,000人の卒業生が小宇宙から大宇宙に向かって飛び立っています。一方で先生方は、変わらず小宇宙の中で生徒を教え続けられており、同窓会として母校に何か恩返しできないか考えました。

卒業生が、例えば、医療関係・国や自治体関係・教育関係・金融関係・法律関係等、さまざまな職業毎にグループを作り、相談したりネットワークを広げれば同窓生各自にとって極めて有益です。しかも、これらのグループが母校に戻り現役の生徒達に話す機会があれば、生徒達は将来の職業とそこまでの道筋のイメージをつかむことができ、大学進学及び職業選択の大きなモチベーションになります。そして、その生徒が社会人となって学校に来てアドバイスをすると循環していけば、人間的にも、能力的にも、組織的にも、強固な「同窓会」組織につながると信じます。

同窓生の皆さん、同窓会へのご協力、宜しくお願い致します。

## 新たなスタート



校 長  
大 森 博 幸  
HIROYUKI OMORI

岡山白陵卒業生の皆さん、お元気ですか。

校長に就任して3年目になりました。この2年間もいろいろなことがありましたが、昨年は創立40周年記念の行事が滞りなく終わり、各方面から数々の賛辞をいただき、ほっとしました。特に11月9日に実施した40周年記念式典は、堂々として荘厳な雰囲気の中、生徒の姿、きびきびとした動作に感動したという声をたくさん聞きました。

来賓として出席されていたある県立高校の校長が「今まで岡山白陵を誤解していました。勉強のできる生徒ばかりで、保護者もお金持ちが多く、鼻が高い人たちの集まりであろうと思っていました。それが会場の体育館に入った瞬間に驚きました。静寂な中に凜とした空気が漂い、そして、起立・礼・着席の時の生徒の一条乱れない動き、すべてに感動しました。今まで勝手に思い込んでいた自分を恥じ、自分の学校も岡山白陵のような学校にしたい、そして是非孫を入学させたいと思うようになりました。」と後日言われたのを、ある人を介して間接的に聞き大変嬉しく思いました。

40年という歴史は他の高校、中学校に比べて決して長いものではありません。100年を越えている学校もたくさんあります。しかし、時代の変化とともに、厳粛であるべき式典や、運動会の入場行進とかが段々と崩れていき、オリンピックの開会式のように、にこやかに自然のまま、ありのままの姿がいいという空気も生まれ、それが常態化してしまっている学校も多数あります。決してそれを否定するわけではないですが、校是である「教養と節度」「愛知・究理」「正明闊達」をいろいろな場面で体现する学校が岡山白陵であり、その根底にある「魂」は在学中だけでなく、卒業してからもずっと心の中に生き続けています。

新たに就任した入江寛同窓会長のもと、岡山白陵同窓会は新たなスタートを切りました。母校の発展のため、そして岡山白陵卒業生の精神的な支柱として、今後益々同窓会活動が活発になっていくことを期待しています。

皆さんのご健康、ご多幸を心よりお祈りします。

# 新役員一覽

会 長	入江 寛 (5期)
副 会 長	山本(藤原)道代 (8期)
	永原 琢朗 (9期)
会 計	福田 雄太 (25期)
	岡野衣里子 (21期)
書 記	神崎 充 (9期)
	中柄 千明 (12期)
会計監事	湯ノ口 勝 (8期)
	寺田 亮 (10期)
校内幹事	浅野 裕司 (主22期)
	井上(赤木)ひと美 (副15期)
	福田 雄太 (副25期) (常任幹事)
	志水 隆秀 (1期)
	岡野衣里子 (21期) (常任幹事)
	吉田 真之 (27期)
	酒井 茂樹 (30期)
	武田 大典 (30期)
	河上 祥子 (34期)
	佐藤 達成 (34期)
常任幹事	平 資正 (1期)
	中村 俊基 (3期)
	更谷 泰弘 (4期)
	出口 静吾 (4期)
	入江 寛 (5期)
	平田 龍市 (5期)
	田島 禎典 (6期)
	吉藤 真仁 (6期)
	川崎 伸弘 (7期)
	前田 達朗 (7期)
	濱本八志良 (8期)
	山本(藤原)道代 (8期)
	湯ノ口 勝 (8期)
	神崎 充 (9期)
	永原 琢朗 (9期)
	川崎 正弘 (10期)
	寺田 亮 (10期)
	藤原 一夫 (10期)
	粟井 一哉 (11期)
	吉川 昭裕 (11期)
	中柄 千明 (12期)
	仁科 智裕 (12期)
	三輪田 亮 (12期)
	深井登喜男 (13期)
	三木 哲 (13期)
	大森友紀子 (14期)
	西村 英治 (14期)
	土井 英之 (15期)
	山下(原田)和香子 (15期)
	増田 智久 (15期)
	亀岡 丈二 (16期)
	藤原 倫洋 (16期)
	鈴木 規弘 (17期)
	田淵 貴大 (17期)

常任幹事	金光(禎野)仁志 (18期)
	黒住 憲一 (19期)
	堀井 智行 (19期)
	本山 哲也 (19期)
	矢尾 淳 (20期)
	梶田 匡史 (21期)
	片山由香子 (21期)
	松下(津島)瑞穂 (22期)
	広瀬 徹 (22期)
	小島 直也 (23期)
	瀧内 博也 (23期)
	内藤洋一郎 (23期)
	合地 史明 (24期)
	吉井 將哲 (24期)
	井澤 太登 (25期)
	禎本 剛 (25期)
	佐藤 嘉洋 (26期)
	高橋 悠 (26期)
	梶田聡一郎 (27期)
	伊達 慶一 (27期)
	池内 仁美 (28期)
	原 尚史 (28期)
	國友 宗義 (29期)
	高田 健二 (29期)
	近藤 宏也 (30期)
	須江 真彦 (30期)
	小川(高野)綾香 (31期)
	山下 晶子 (31期)
	秋田 光輝 (32期)
	田野口梨奈 (32期)
	井上 夏実 (33期)
	假谷 彰文 (33期)
	岡 聡一郎 (34期)
	山内 菜緒 (34期)
	熊谷 元希 (35期)
	山本 淳史 (35期)
	荻野 唯 (36期)
	坂井 純 (36期)
	須江 崇彦 (36期)
	真田 知佳 (37期)
	中嶋 章裕 (37期)
	弓岡 弘樹 (38期)
	横堀アリア (38期)
	渡辺 康平 (39期)
	和田 穰 (39期)
相談役 (新設)	松本 浩昭 (元会長1期)
	大津 正和 (前会長1期)
	大西 修 (前副会長1期)
	志水 隆秀 (前会計1期)
	柴田 貴久 (前書記2期)
	港 正明 (前書記3期)
	高須 一郎 (前会計監事3期)
	寺田 善彦 (前会計監事5期)

# 新役員挨拶



会長

入江 寛 (5期)

この写真は、高校2年（昭和57年）の北海道に修学旅行に行った際の園長との2ショットです。厳しい園長でしたが、生徒への愛情は無限大だったと思います。そんな園長世代の人間の1人として、将来につながる同窓会組織の基盤を造り後輩達に引き継ぐことが、私の会長としての責務と考えています。

新たな役員体制は一覧のとおりです。今回、副会長、書記、会計、会計監事、主副の校内幹事を含めたメンバーを「幹部役員」として、「幹部役員会」を必要に応じて開催します。既に3月に引継会を行い、次回は6月です。そして、これまで「幹部役員」の立場におられた先輩方には、新設した「相談役」にご就任いただき、大所高所から同窓会にアドバイスをお願いしたいと思います。

本年最初の目標は、役員会に多くの役員の方へ出席してもらうことです。同窓会総会の今後の開催サイクル、準備作業、企画のアイデア等、この役員会で知恵を出し合って協議し、また役割分担等もお願いしたいのです。役員同士の縦と横のつながり、信頼関係を築き、同窓会の中心となっていただきたいのです。夏期役員会は7月23日（日）母校です。役員皆さん、是非とも参加をお願いします。

## 同窓会副会長として

今期より副会長をお引き受けすることになりました8期生の山本（旧姓 藤原）です。卒業時に担任であった木村和史先生から「家も学校に近いし、どう転んでもきっと岡山におけるやろ」と幹事を仰せつかり、約30年になります。木村先生の予言通り(?) 大学も岡山、その後の仕事もずっと岡山です。役員会もほぼ100%出席して、学校の移り変わりを見てきました。これまで1期生の先輩方や学校におられる同窓生の先生方にお任せしていた同窓会のあり方を変えていく時期に来たのではないかとの声もあり、ほんの少しだけ幹部役員の若返りを図ることになりました。

まずは組織作りからではないかと考えていますが、同窓生の皆様や各期の役員の方々の協力なくしては到底前には進みません。多くの役員の方々が夏の役員会に出席して、今後の同窓会のあり方、事業内容について建設的な意見交換がなされることを願っております。皆様に助けていただきながら会長の入江先輩をサポートしていく所存です。どうぞよろしく願いいたします。



副会長

山本（藤原）道代 (8期)



副会長

永原 琢朗 (9期)

この度、同窓会副会長を引き続き仰せつかることになりました。9期生の永原琢朗と申します。慶應義塾大学、金融機関を経て、現在岡山にて家業である醤油メーカーの5代目社長をしております。

同窓会にはかれこれ20年近く役員として関わらせてもらっていますが、近年副会長を拝命し、東京碧翠会の立ち上げに関わらせて頂きました。また子供が岡山白陵に進学したご縁で、育友会副会長も兼務させて頂いています。

入江新会長の元、新たな体制が確立され、新役員メンバーと交流を深めていますが、皆“岡山白陵愛”に突き動かされ、利他の心で行動する素晴らしい方々です。

是非とも同窓会も学校を盛り立てる一助となり、岡山白陵は「在学して良し、卒業して尚良し」と言われる学校にして参りたい所存です。

卒業生の皆さん、ご協力を宜しく願います！！

1987年春卒業（9期生）の神崎充です。卒業後、京都大学経済学部を経てビジネスの世界に入り、現在は自分で興した人材育成・経営コンサルティング団体を経営しています。今、こうしてビジネスの世界で生き抜くことができているのは、かつて理屈を超えた厳しい環境で鍛えていただいたから。変化を楽しみ、挑戦する心を失わずにいられるのは、故三木省吾先生の教え「人間としての自己の存在を自覚し、生きていたことの証を残して生涯を終われ」が人生観に深く根ざしているから。卒業後30年を経た今、改めてそのことを実感しています。その母校に感謝し、恩返しできる機会をいただいたことを光栄に思います。頑張ります！



書記

神崎 充 (9期)

このたび岡山白陵同窓会役員会の書記に任命されました12期生の中柄千明です。現在私はJR和気駅のすぐ南側で眼科医院を開業しており、学校から集合がかければ10分でかけつけることができます。この状況を生かして今後同窓会の細々とした事務作業を積極的に担当させていただきたいと考えています。岡山白陵の卒業生には医療をはじめ様々な分野で活躍されている方が大勢おられます。こういった方々が同窓会を通じてもっと密接に交流し、スクラムを組むことでより大きな力となり、岡山白陵高校のブランド力をさらに高めることができると信じています。まだまだ未熟ですが、岡山白陵高校同窓会がさらに活力ある組織になれるよう精一杯努力させていただきます。今後ともよろしくお願いいたします。



書記

中柄 千明 (12期)



会計監事

湯ノ口 勝 (8期)

岡山白陵高等学校8期生の湯ノ口勝と申します。この度、ご縁があって同窓会役員を仰せつかることになりました。今年度より、同窓会長に5期生の入江寛様が就任されるということで微力ながら全力でサポートさせて頂きたいという一心で会計監事を引受けさせて頂くことになりました。入江寛様とは部活でもお世話になり社会人になってからも何かとアドバイスを頂戴したりと大変尊敬する大先輩でございます。そんな大先輩と一緒に同窓会を運営でき大変光栄でございます。

是非とも同窓会を盛り上げて行くことで岡山白陵の歴史と伝統を築き上げる為の礎になればと思っております。皆さん、よろしくお願い申し上げます。

この度、同窓会の会計監事を拝命した10期生の寺田亮と申します。岡山白陵は創立から40周年を経て、多種多様な分野に数多くの卒業生を輩出しています。しかしながら、これまでは卒業生が在校生のために何かをする機会は少ないのが実情でした。また一方で、岡山県の教育環境は大きく変化し続けており、将来に渡って我が校が県下トップの進学校であり続けられるかどうかは正念場を迎えているとも感じます。

今回、同窓会活動に係わることになったきっかけは「OBが在校生のためにもっと尽力して、母校をさらに魅力ある学校にしよう」という呼びかけです。今後は皆様方と協力して、微力ながら母校のお役に立ちたいと思っています。よろしくお願い致します。



会計監事

寺田 亮 (10期)



校内幹事代表

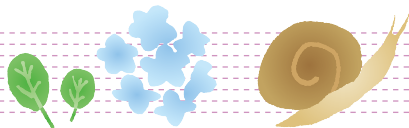
浅野 裕司 (22期)

現在、岡山白陵卒の教員は10名おり、同窓会の校内幹事として活動しています。同窓会をサポートする立場にありますので、同窓会の盛り上がりにも少しでも寄与できればと考えています。

校内幹事の役割の中で大きいものは同窓会報の発行です。その中で、同窓生の活躍・在校生の活躍を伝えるとともに、同窓会総会の連絡などもしています。そのため、同窓会からの連絡が確実に届くように、住所変更などがありましたら連絡をお願いします。同窓会報が届かない方がいれば、学校へ連絡するように言っていただければと思います。

卒業生の増加とともに、それぞれの場で中心的な役割を担っている同窓生が多くなり、今後ますます社会で活躍される方が増えていきます。同窓会総会が開催される際は、多くの同窓生が集まって情報交換をし、その結果、さらに活躍の場を広げるようなものになって欲しいと思っています。

# 活躍する同窓生



今回ご紹介する同窓生はお二方です。この岡山白陵という根から育った花の多彩なこと。

## 大道 亮太郎 (25期)

同窓会の皆様におかれましては益々ご健勝のことと存じます。

先日、卒業生と語る会にお招き頂きました25期生の大道亮太郎と申します。今回同窓会報誌に執筆依頼をいただきましたので、拙筆ながら失礼致します。

私は、平成22年に鳥取大学医学部医学科を卒業後、同年より岡山大学病院で初期研修を行い、平成24年に岡山大学耳鼻咽喉科に入局、同年9月より2年2ヶ月香川県立中央病院耳鼻咽喉・頭頸部外科に派遣され、平成26年末より帰局し、岡山大学病院耳鼻咽喉・頭頸部外科で勤務しております。専門は耳科学、神経耳科学で、聴力障害に関わる分野です。特にその中でも小児難聴、遺伝性難聴に興味を持ちながら診療を行っています。具体的には、先天性難聴で自然な状態では音を聞き取ることができない患者さんに、人工内耳と言う機械を手術で埋め込んで聴力を獲得していただく方法などを行っています。先天性難聴は1,000人に1人の頻度で起きる疾患です。そのような子供たちが一人でも多く音を聞き取れる幸せを感じてもらえたらと日々仕事をしています。一方でそれでも聴力の獲得が難しい方もいらっしゃいます。聲の方々の手話による文化も否定するのではなく、互いに尊重しながらユニバーサル社会の構築の一助になればと思っています。

20歳の時に一度学校を訪問しましたので、今回12年ぶりに再訪しましたが、熊山駅からの通学路や素晴らしい



自然など基本的なものは大きくは変わっていませんでした。校門の近くの踏切には、予備校の看板が沢山並んでいて時代を感じました。新校舎は素晴らしく綺麗で、教室もどこも明るく、青春ドラマで出てきそうな学校へと変貌を遂げておりました。

今回は中学3年生、高校1、2年生と触れ合いましたが、驚いたことは、皆さん話の前後など静かにする場面では本当に誰一人話をせずに待っていられることでした。職業柄、学校検診などに伺う機会があるのですが、このようにTPOに応じてきちんと動ける学校は他にはないと思います。普段の先生方、そしてご家庭での教育の賜物と感じました。

座談会では、中高生ならではの悩みを共に語り合いました。印象深かったのは、「両親が医者なので、医者にならなければならない。」というプレッシャーを感じている生徒さんが複数いたことでした。厚生労働省の医師需給予測によりますと、地域偏在問題などは別にした上で、今の生徒さん達が、初期臨床研修が終わり専門に進む2033年辺りを境に医師過剰時代を迎えることとなります。資格があるだけでは、食べていくことができない時代を迎える中で、それでもこの職業の楽しさ、やりがいを味わってみたい人がやるべきではないか、とお話しました。

今回お招きいただき、私にとっても、生徒の皆さんと触れ合えたこと、懐かしい先生方とお会いできたことで大変良い経験となりました。

最後になりましたが、同窓会並びに学校関係者の皆様、保護者の皆様の益々のご発展を祈念しまして筆を擱かせていただきたいと思います。最後まで拙文をお読みいただきありがとうございました。

## 内藤 めい (31期)

恥ずかしながら、高校を卒業してから一度も降り立っていなかった熊山駅。先日在校生と語る機会をいただいて久々に母校を訪ねました。部活終わりにダッシュで電車に乗り込んでいた（乗り遅れると次の電車まで結構待つんですよね……）熊山駅の階段や駅のホーム、通学路は、思っていた以上に狭く短く感じるようになっていました。校門をくぐるとなにやら正面に見かけない像が。この「ミネルヴァの像（美少女）」は在校生の成長を見守ってくれているそう。（まっ正面から見ると特に愛嬌が増すそうですよ、是非お試してください。）昔より傾斜がきつくなった気がする正面玄関への坂を登りきると、新校舎が出迎えてくれました。新校舎は清潔感が増していたり、廊下に駄弁れるスペースがあったりと、なにやら楽しそうで正直羨ましい。……とはいいつつも、憩いの広場での集会の様子や、体育館の独特の臭いは変わら



なくて、ああ帰ってきたなあと肌で母校を感じました。

卒業生と語る会では、講演後に多くの在校生と話す機会をいただいて、苦手科目の克服の仕方、東京での大学生活、人間関係の悩み、仕事に対する考え方など、それぞれがさまざま悩んでいること、気になっていることを共有してもらいました。なんとなく、自分が学生時代に抱えていた悩みや感情は、時間をかけて自分なりの答えが見つかったものもあれば、いつのまにか問いに対するこだわりが消えてしまったものもあり、それら全てを掘り返されるような不思議な感覚を得るとともに、当時大切にしていた思考や感情をいくつか思い出すことができました。

久々の母校は、時が経ち自分が学生だった頃とは違った空気を感じましたが、やはり自分の中に脈々とオカハクの血が通っていることを実感しました。私と同じように故郷から遠く離れた土地にいらっしゃる方々、また毎日の仕事や勉強に奮起されている方々へ、この春は是非、熊山の緑、そして変わらず温かく迎えてくださる先生方のもとに、足をお運びになってはいかがでしょうか。

## 同窓会だより 高校5期・中学2期

平成28年(2016年)12月29日

平成28年(2016年)12月29日、姫路城を間近に臨む宴会施設「ソラニワ」にて、高校5期・中学2期の同窓会を開催しました。担任いただいた大森忠彦、岡田好弘両先生を含めても17名のささやかな会合でしたが、久しぶりということもあり、時間の経過も忘れ旧交を温めました。

参加したメンバーのうち、中学時他校転出1名、中学卒業時他校進学4名、高校時他校転出等4名というように、オリジナルメンバーよりも進路変更組が多数を占める、当学年ならではの構成でした。

在学時代に共に過ごした時間は長くなくても、青春という難しい時期に、あの困難（どの困難なのかはご想像にお任せいたします。分かる人には分かります。）を、それぞれが、あるいは助け合いながら乗り越えようとした在校時の話やその後の人生を語り合い、とても有意義な時間を過ごすことができました。

なお、高校5期・中学2期の入江寛君が次期岡山白陵同窓会会長に就任する旨を披露させていただきました。参加者全員がこの光栄を喜び、入江君の活動を力を合わせてサポートするとともに、これを機会に今後の定期的な開催と再会を誓い、各自帰途につきました。（幹事一同）



## 最近3年間の大学入試状況

国公立大学	平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	合格数	医-医	合格数	医-医	合格数	医-医
東 京 大	11		4		3	
京 都 大	3		5		2	
岡 山 大	21	12	22	17	14	11
北 海 道 大	2		3		1	1
東 北 大			1			
東京工業大	2		1		2	
名古屋大	3		1	1		
大 阪 大	4		4		10	1
神 戸 大	7	2	2			
九 州 大	5	1	3		3	
広 島 大	1		2		1	1
山 口 大	6	4	4	3		
鳥 取 大	2	1	6	4	8	6
徳 島 大	4	3	2	2	1	
香 川 大	6	3	6	5	7	5
愛 媛 大	3	2	1	1	5	3
高 知 大	2	2	1	1	3	3
防衛医科大学校	8	8	4	4	6	6
他国公立大学	45	10	28	6	45	6
国公立大学計	135	48	100	44	111	43

私立大学	平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	合格数	医-医	合格数	医-医	合格数	医-医
早 稲 田 大	16		27		11	
慶 応 大	10		14		8	
中 央 大	9		14		8	
明 治 大	16		6		7	
東 京 理 大	6		10		5	
同 志 社 大	20		23		25	
立 命 館 大	23		19		14	
関 西 学 院 大	18		15		14	
関 西 大	5		7		6	
大 阪 医 大	3	3	6	6	4	4
関 西 医 大	2	2	4	4	4	4
近 畿 大	10	5	7	6	12	2
兵 庫 医 大	4	4	8	8	9	9
東京慈恵会医大			1	1		
産 業 医 大			2	2	2	2
その他の私立大	118	13	70	18	113	17
私立大学計	260	27	233	45	242	38

今春の大学入試結果の中で、世間からの注目の的である東大合格者は3名・国公立大学医学部医学科43名で、ともに昨春から1名ずつの減でした。表面的に見れば「両方とも昨年並み」で、東大は低迷中、医学部医学科は安定という風に見えますが、実質は若干変化があります。

少子化の影響や世の中の先行きが不透明なために、遠く離れた大学に進学するのを保護者・生徒ともに嫌う傾向は全国的に喧伝されており、本校もその例外ではありません。医学部以外に関しては例年のように浪人してでも難関校を目指すという者も少なくなっています。そんな中、今春卒業した39期生はチャレンジする受験姿勢で安易な併願もせず、最後まで第一志望を貫いた生徒が多く見受けられました。

今年の高校3年・40期生は学年主任も各担任も非常に若々しい学年で、本校では珍しい6クラス体制で生徒も200名を超えており、非常に活気があります。これまで学年団の入れ替えも少なく、教員・生徒・保護者のコミュニケーションもよく取れており、来春目覚ましい結果を出せるよう、頑張らせたいと思います。捲土重来を期して浪人中の生徒に関しても、39期担任団が各予備校へ激励に向かいます。在学中はもちろん、浪人しても岡山白陵はぶれることなく、真の「面倒見のいい学校」として生徒と一体となって合格を勝ち取ります。

進路指導部長 森安 信之

## 岡山白陵同窓会

〒709-0715 岡山県赤磐市勢力588 TEL：086-995-1255

学校ホームページ <http://www.okahaku.ed.jp/> 同窓会ホームページ <http://www.okahaku.ed.jp/dk>

E-mail [dousoukai@okahaku.ed.jp](mailto:dousoukai@okahaku.ed.jp)

## 編 集

Editor's note

## 後 記

同窓会報第25号発行に際しまして、多くの方々からご協力を賜りましたことを篤く御礼申し上げます。

「新たなスタート」という題で大森校長先生が会報に寄稿されましたが、同窓会も「新たなスタート」を切りました。入江新会長を初めとする『新体制』が発足し、同窓生の絆を更に強固なものとする強い意志が感じられます。我々の心の奥深くに刻まれた『岡山白陵』を今一度呼び起こし、『きゅうゆう』との素晴らしい日々を思い出されてはいかがでしょうか。

さて、私事ですがこの度担任として「新たなスタート」を切りました。学級運営や生徒指導・教科

指導など、改善すべき点が多く、毎日あたふたしています。同時に、中高時代の恩師はこんなにも苛酷な仕事をしていたのかと思い、尊敬と感謝の念を感じるばかりです。

大学生でも、社会人でも、岡山白陵は皆様をお待ちしております。生涯の母校たるこの岡山白陵に、ぜひともお立ち寄り下さい。

最後になりましたが、この一年が皆様にとって素晴らしい一年となりますよう、祈念申し上げます。今後ともよろしくお願い致します。

(34期 佐藤 達成)